

を二重敷居となし（一は戸の爲め、一は下記の格子の爲めに）、之に板戸に添ふて荒き格子（鶏の自由に入出し得るを限度として）を設け、之に錠を附するを最良とす。

斯くすれば鶏の出入丈は自由なるが故に、鶏の産卵には毫も障害とならず、主人又は家族毎朝一定の時期に、錠を以て之を開けつゝ、集卵の監督をするなり、又は自ら之を集むべし。尤も朝は大抵各雌鶏の産卵する時刻なれば、其の時刻後になすべきは勿論にして、既に集卵後の格子開放のものに初めて舎内の掃除を初めさす時は殆んど其の豫防をなし得べきなり、中には午後産卵するもの往々なきに非らざるも、其の数は極めて僅少なるが故に、此に對しては午前の如き注意を加へざるも、目立つほどの事に非らず萬一尙ほ其の恐れあるときは掃除後再び格子に錠をかひ置けば十分なるべし。

### （二四） ツブシに出す鶏の賣方

實用的養鶏場には毎年夥多の不用鶏を生ずるを以て、其の賣却方法の巧拙は收支上に

關係すること亦た頗る大なるは事實が示す所なり、故に余は此の研究を特に見逃す能はざる所以なりとす。

人工肥滿法に就ての詳細は茲に記すの餘地を有せざるも、其の主なる利益を擧るべきは左の如し。

【第一の利益】 假令ば普通の鶏にして體量七百匁、肉付普通、其賣價斤十八錢即ち七百匁目にて一圓二十六錢なりと假定し、茲に十日間肥滿法を施して賣却するとせば、其の十日間の飼料一日一錢二厘として十分十二錢、十日間の勞力費八錢（高く見積り）を加ふるのみにして、其の量目に於て一貫匁に達し得たりとすれば、肉附及脂肪なき程賣價の率増加するは普通なるを以て、十八錢替が二十錢替となるは容易なるべく、即ち一貫目の二圓となり、之より前記の費用二十錢を引き、一圓八十錢となるべし。故に肥滿より得たる利益は五十餘錢なるべし。於茲乎同じ不用鶏を賣却するに當りても夫れ丈の増收を得べきを以て、家禽家が一年中に賣却する鶏數に應じて全く餘分に收得し得る



額は莫大なるに至るや必せり。故に其の利益の第一として全く餘分の収益を得ること、なるべし。

【第二の利益】 本法を施して肥満せしむるときは肉付きよくなると同時に脂肪も相當となり、従て肉質柔軟となり、且つ美味となるべきを以て、其の賣價も増進す。此の利益も亦た輕々に看過すべからず。

【第三の利益】 こゝに又た利用すべき餘業的大利益あり、即ち自家の飼養鶏以外、又は常養は第二として單に鶏舎のみを用意し、他より又は近村近郡より所謂瘠せ鶏を絶えず買集め、此等に一定の期間中肥満法を施したる上賣却し得ること即ち是なり、看よ、一羽五十錢にて買集めたる並以下の雄鶏を七八十錢に肥満し得るは、甚だ容易なるを以て自家の養鶏以外に之を副業として營み、以て其の増收を計るも、又は之を専業とするも甚だ利益ある方法にして、米國などにては特に後者の目的を以て肥満所を設け、盛んに營業しつゝあるもの却て多きは目下の形勢なりとす。

【第四の利益】 何人も知る如く、雄鶏は多く食する割合に却て雌鶏に比し極めて肉付き悪しく、且つ早く肉の固まるものなり。然るに肥満法を施すときは此の二つの缺點を非常に少くし得るの利益あり。

【第五の利益】 上記の雄鶏に似て更に異なる状態を示すは、彼の中雛の肉附之れなりとす。これ亦た各養鶏者の熟知する如く、中雛は其の生育力強勢を極むるを以て、驚くべく多く食ふに反し、何時も瘠せ居るは實際なり。これ他なし如何に食ふも生長する一方なるを以て、肉の附き方到底之に近付き得ざるが故ならずむばあらず。故に中雛を肥満せしめんとするには、勢ひ生長力に追越し得る丈けの方法をとらざる可らず。假令ば中雛の生長力は彼の若き果樹に似たらんか。即ち若き果樹は果實の生長力も強きを以て、地中より吸収する凡ての營養質を以てよく果實の生長をなすと雖も、其の果實自らの充實や、味は極めて劣等にして、只だ生育一方のみ。其の實や形ばかり大にして實質十分ならず。然るに此以上に其の充實を計るべき方法ありとせんか、其の利益や莫



大なるべき也。中雛に於ける人工肥満法は即ち此の充實を實現すべき唯一の良法なるが故に、一羽三十錢の中雛は之を四十錢或は五十錢とするに難からず。而かも益々中雛の需要と価格を増加しつつある今日、本法の應用や其の利益従つて注目すべき價值あるや多言を要せざる也。

【第六の利益】こゝに又た實際に臨んで豫想以上の利益あり。此れ内外を通じて益々其の度を増しつつあるもの、即ち肥満鶏を常に市場又は仲買店、或は取引店等に出すときは間もなく某養鶏場の鶏は一定し居りて、肉附十分なるの故を以て、漸次信用と価格を増加し得るは自然の數にして、如何に掛引多く不徳甚しく、且つ人の足許を見る市場の常とは云へ、此の自然の法則は何時となく勝利を得るに至るは百發百中にして、之が爲めに如何なる不景氣、如何なる供給過多の時に際しても、容易に市場の愛顧と期待を得て、取引上に利する所多きは實際に當りたる人の案外とする所なり。これ間接の利益に類するが如くなるも、而かも直接第一に重要視せらるゝに至る一大利益なりと

云はざる可らず。

【第七の利益】最も新しく且つ最も進歩せる肥満法を以て飼育したる鶏は其の骨細きこと、皮極めて軟かきこと、肉の外見しまり、而かも齒に柔きこと、脂肪は中位にして滋養質に富み、美味なること、及び其の他自然飼育の鶏に比して理想的特點の凡てを備ふることにて、特に著明なるものなり。

右の外尚ほ之を普通の自然的飼養に比し、時間の利益に於て、勞力節減の利益に於て將た又た運轉資金の利益に於て、其の他細少なるものまで數へ來るときは殆んど十指を屈するに暇あらざるべき也。

人工肥満の利益あるや既に斯くの如く大なり。故に之を副業的になすは收入増加を謀る唯一の安全瓣なるを信じて疑はざる也。其方法の詳細に至つては茲に述べるの餘白を有せざるを以て、拙著『家禽人工肥満法』(價五十錢東京有隣堂發行)に就て見られんことを希望す。



（二一六） 其他收入増加を謀るに餘地あるもの

として尙ほ頗る多し。彼の食卵貯藏法の如きも其の一にして、此の方法にも十餘種あれども、今日の所凡ての點より最も簡便、最も安價、且つ最も結果よきは硫酸曹達貯藏法是なりとす、是を用ひて春分の安きもの（自園のものも、買集めたるものも）を貯藏し、高價の際販賣するは確に利益多し。東京附近にて既に之を業とせる農夫あり。収入増加策としては確に良法たり。

その他幼稚の販賣、割勢、養鶏、雛の剝製、孵卵受賣、養鶏器具の販賣等數へ來れば副利とすべきもの頗る多し。

以上は凡て余が實驗上の成功法にして又他にも之れを勸めて可なるを信するもの也。

實用養鶏成功法終

明治四十五年七月七日印刷  
 明治四十五年七月十四日發行

實用養鶏成功法奥付

（正價金五拾錢）

編纂者兼 發行 者  
 東京市神田區錦町三丁目五番地  
 樫 村 平 吉

印刷者  
 東京市麹町區飯田町二丁目六十八番地  
 上 田 鑑 二

印刷所  
 東京市麹町區飯田町二丁目六十八番地  
 公 木 社

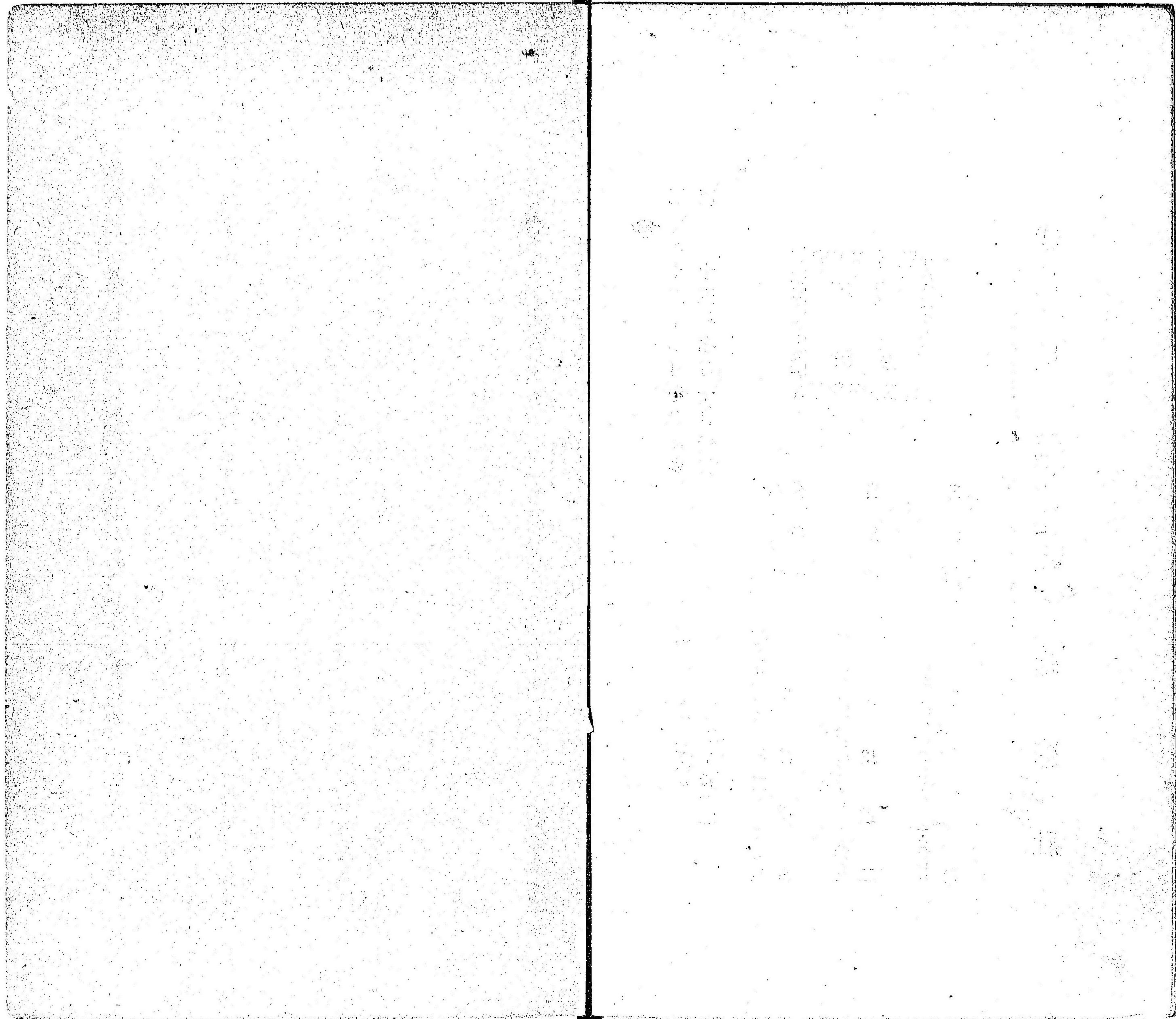


發行所

東京市神田區錦町三丁目五番地

曉聲社





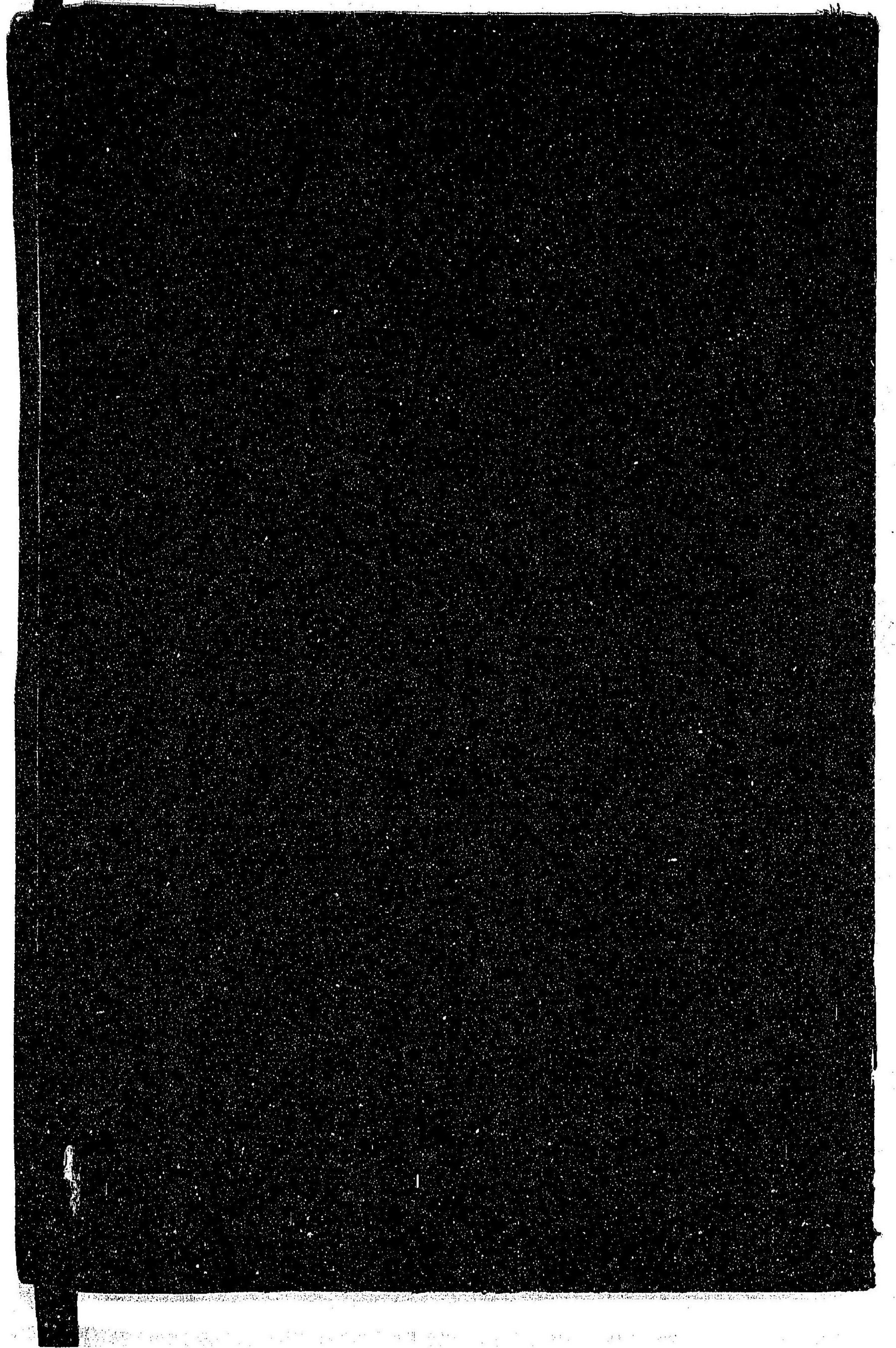


840
181



340  
15







064808-000-0

340-15

實用養鷄成功法

樫村 平吉 / 編

M45

CCD-0260





